

令和5年度補正予算 需要家主導型太陽光発電導入支援事業 申請書類作成の手引き

第2.2版 令和7年1月

需要家主導型太陽光・蓄電池導入支援事務局

※令和5年度補正予算事業の三次公募においては、一次公募・二次公募で実施した単年度事業の公募はいたしません。

※需要家主導型太陽光発電導入支援事業につきましては、来年度以降の公募予定はございません。本公募が最終実施となる見込みです。

はじめに

- 本手引きは、令和5年度補正予算需要家主導型太陽光発電導入支援事業（以下、「本事業」）への申請に際し、各種申請書類の記載方法等について解説することを目的としています。
- **指定様式に係る記載方法**を確認したい場合は、下表をご覧くださいの上、本資料中の該当ページをご参照願います。

様式	書類名称	ページ
様式第 1	応募申請書	p.4-5
別紙 1 - 1	補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額	p.6
別紙 1 - 2	役員名簿	p.7
別紙 1 - 3	誓約書	p.8
様式第 2	実施計画書	p.9-10
別紙 2 - 1	申請者情報（発電事業者）	p.11
別紙 2 - 2	関係者情報（小売電気事業者・需要家）	p.12
様式第 3	実施体制	p.13
様式第 4 - 1	補助対象設備の整備計画（総括表）	p.14-21
様式第 4 - 2	補助対象設備による電気の利用の計画	p.22
様式第 4 - 3	補助対象設備の設備構造図	p.23-24
様式第 5	資金計画	p.25
様式第 6	事前着手申請書	p.26
添付4(1)	地上設置の場合：補助対象設備を導入する土地全筆の地番リスト	p.27
添付4(2)	地上設置の場合：添付 4 （ 1 ） のリストにある土地と境界を接する土地全筆の地番リスト	p.27
添付11	関係法令手続状況の説明資料	p.28
添付12	賃金引上げ計画の表明書	p.29

※ 提出書類には、上記申請書類以外に、自由様式による申請書類も含まれます。詳細は公募要領をご確認ください。

補助金を申請及び受給される方へ

本事業の補助金の交付を申請する方、採択されて補助金を受給される方は、本事業ホームページに掲載の公募要領を十分確認・理解する他、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年8月27日法律第179号）（以下、「補助金適正化法」という。）及び需要家主導型太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業費交付規程（以下「交付規程」という。）をよくご理解の上、また、下記の点についても十分にご認識した上で補助金受給に関する全ての手続を適正に行っていただくようお願いします。

遵守事項

- ① 補助金に関係する全ての提出書類において、いかなる理由があってもその内容に虚偽の記述を行わないでください。
- ② 偽りその他不正な手段により、補助金を不正に受給した疑いがある場合は、需要家主導型太陽光・蓄電池導入支援事務局（以下、事務局）は、補助金の受給者に対し必要に応じて現地調査等を実施します。
なお、事業に係る取引先（委託先、外注（請負）先以降も含む）に対して、不明瞭な点が確認された場合、補助金の受給者立ち会いのもとに必要な応じて現地調査等を実施します。その際、補助金の受給者から取引先に対して協力をお願いしていただくこととします。
- ③ ②の調査の結果、不正行為が認められたときは、当該補助金に係る交付決定の取消を行うとともに、受領済の補助金のうち取消対象となった額に加算金（年10.95%の利率）を加えた額を返還していただきます。併せて、事務局から新たな補助金等の交付を一定期間、行わないこと等の措置を執るとともに当該事業者の名称及び不正の内容を公表することがあります。なお、経済産業省が現在停止中の事業者として以下URLにて公表されている事業者は本補助金の申請者等になることはできません。
https://www.meti.go.jp/information_2/publicoffer/shimeiteishi.html
- ④ 補助金に係る不正行為に対しては、補助金適正化法第29条から第32条において、刑事罰等を科す旨が規定されています。あらかじめ補助金に関するこれらの規定を十分に理解した上で本事業の申請手続を行うこととしてください。
- ⑤ 事務局から補助金の交付決定を通知する前において、発注等を行った経費については、原則として、補助金の交付対象とはなりません。
- ⑥ 補助事業を遂行するため、売買、請負その他の契約をする場合、若しくは補助事業の一部を第三者に委託し、又は第三者と共同して実施しようとする場合の契約（契約金額100万円未満のものを除く）に当たっては、事務局又は経済産業省から補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている事業者を契約の相手方とすることは原則できません（補助事業の実施体制が何重であっても同様）。
- ⑦ 補助金で取得、又は効用の増加した財産（取得財産等）を当該資産の処分制限期間内に処分（補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、廃止し、又は担保に供すること）しようとする時は、事前に処分内容等について事務局の承認を受けなければなりません。
なお、必要に応じて取得財産等の管理状況について調査することがあります。
※ 処分制限期間は、補助事業等により取得し、又は効用の増加した財産の処分制限期間（令和5年4月26日経済産業省告示第64号）を準用し、建物附属設備においては、蓄電池電源設備（6年）、その他のもの（太陽光発電設備）（15年）、機械及び装置においては、蓄電池電源設備（6年）、その他のもので主として金属製のもの（太陽光発電設備）（17年）の処分制限期間を準用して適用する（以下同じ）。
- ⑧ 補助事業に係る資料（申請書類、事務局発行文書、経理に係る帳簿及び全ての証拠書類）は、補助事業完了（廃止の承認を受けた場合を含む。）の日が属する年度の終了後5年間いつでも閲覧に供せるよう保存してください。
- ⑨ 補助事業の実施中及び終了後、発電事業の状況や補助事業の成果を分析するためのデータ収集やアンケート協力等について、事務局又は経済産業省が提供を求めた場合は、協力してください。なお、それらの分析結果については、補助事業者へ不利益が生じないように個別確認を行った上で、事務局のホームページ等で公表することがあります。
- ⑩ 事務局は、交付決定後、交付決定した事業者名、補助事業概要等を事務局のホームページ等で公表することがあります。

本事業への応募申請に係る主な留意事項

- 応募申請に際しては、下記の点に留意のうえ申請書類を作成いただきますようお願いいたします。

申請期間 及び 申請方法

- 申請期間は公募要領に記載の通りです。ご確認のうえ期限内に申請願います。
- 事務局ホームページに記載のjGrants (Jグランツ。デジタル庁が運営する補助金電子申請システム) による申請のみ受け付けます
※ 郵送・メール・窓口での提出は受け付けません。

申請書類の 提出方法

申請書類は全て電子ファイル形式にて提出願います。この際、ファイル名については下記を参照の上、ご対応願います。

- 様式第1は、別紙1-1～別紙1-3をまとめて1つのPDFファイルとし、ファイル名を「**様式第1_申請者名.pdf**」として提出してください。様式第5、様式第6も同様のファイル名にて提出してください。
- 様式第2～様式第4-3、添付4(1)、添付4(2)、添付11は、EXCELファイルのまま提出してください。ファイル名は「**様式第2_申請者名.xlsx**」として提出してください。
- その他、添付1～添付16（添付4(1)、添付4(2)、添付11を除く）は、PDFファイルで提出してください。ファイル名は、例えば添付1の場合は、「**添付1_申請者名.pdf**」とし、他の書類も同様のファイル名として提出してください。

補助金申請に 係る基本的な 留意事項

- 本補助金の応募に際しては、公募要領を十分確認・理解する他、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年8月27日法律第179号）（以下、「補助金適正化法」という。）及び需要家主導型太陽光発電導入支援事業費交付規程をよくご理解の上、申請書類を作成してください。）
- 申請書類の作成に際しては、申請者が記入すべき部分を除いて、内容を絶対に変更しないでください。予め定められた内容を変更して申請が行われたことが発覚した場合、不採択・交付決定の取消し等を行います。
- 申請書類の様式は、書類作成の簡素化のため、一部自動計算により入力されるように作成されています。
- 申請書類の提出にあたっては、公募要領の他、本注意事項をよく確認の上、作成してください。

お問い合わせ先

需要家主導型太陽光・蓄電池導入支援事務局

- 電話：03-4590-7681（受付時間9：30～12:00、13:00～17：00／土日・祝日は除く）
- ホームページURL：<https://saiene-support.jp>

様式第1（応募申請書）の記入方法 1/2

(様式第1)

番 号
2024 年 XX 月 XX 日

需要家主導型太陽光・蓄電池導入支援事務局 殿

申請者 住所 東京都港区新橋 XXX-XX
氏名 株式会社 需要家太陽
代表取締役社長 太陽太郎

令和5年度補正予算
需要家主導型太陽光発電導入支援事業費
応募申請書

令和5年度補正予算需要家主導型太陽光発電導入支援業公募要領（以下「公募要領」という。）に基づき、下記の通り申請します。
なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号）及び需要家主導型太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業費補助金交付要綱（20231208財資第1009号）、需要家主導型太陽光発電・再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業費補助金交付規程、公募要領等の定めに従うことを承知し、並びに下記の事項を遵守することを宣誓の上、申請します。

記

【宣誓事項】
1. 申請内容が公募要領に定める要件に合致し、これらの要件を遵守した上で補助対象事業を実施する。
2. 補助対象事業の実施に際して、地方公共団体が定める条例を含め関係法令を遵守する。
3. 補助対象事業により整備する太陽光発電設備、並びに蓄電池設備（当該設備の整備に伴う土地の整備等を含む）について、当該設備の廃棄処分について責任を持って適正に実施する。
4. 補助金の申請内容に対する虚偽、又は関係法令、補助金適正化法、交付規程、公募要領に定めた要件及び交付決定の際に付した条件に関して合理的な理由なく違反する行為が認められた場合は補助金を返還する。

1. 補助対象事業の名称（発電所名もしくは蓄電所名）（注1）	
ABC 発電所	
2. 補助対象事業の目的及び内容	
脱炭素社会構築を目指す株式会社 EEE 電機及び FFF 製作所株式会社が必要とする再エネ電気を供給するための太陽光発電施設を整備する。	
(1) 発電事業者の名称	株式会社 需要家太陽
(2) 小売電気事業者の名称	XXX 電力株式会社
(3) 需要家の名称	株式会社 EEE 電機、FFF 製作所株式会社
3. 補助事業の種別（注2）	①単年度事業 ・ ②複数年度事業
4. 補助対象事業の計画概要（注3）	
1 年度目	〇〇を実施する。
2 年度目	〇〇を実施する。
3 年度目	〇〇を実施する。

！【本様式全体に関わる留意点】

- 本様式はWordファイル“様式第1”で提供します。
- 記入すべき箇所以外の内容は変更しないでください。

！「番号」に申請者の申請IDを、「年月日」には申請日を記入してください。

！申請者の住所、法人の名称、代表者の氏名を記入してください。

！申請に際しては記載内容を十分にご確認願います。

1 補助対象事業の名称（発電所名もしくは蓄電所名）を記入してください。名称未定の場合は、仮称を記載いただいても構いません。

2 補助事業の目的及び内容を記入してください。

2(1) 申請者の名称を記入してください。

2(2) 小売電気事業者の名称を記入してください。

2(3) 需要家の名称を記入してください。複数の場合は、全需要家名をここに記載してください。（複数にて記載出来ない場合別紙に記載してください。）

3 補助事業の種別を選択してください。（三次公募では複数年度事業のみ公募対象であるため、②複数年度を選択してください。）

4 各年度において完了を見込んでいる手続きや工事等の概要を記入してください。

※公募要領1-5における第1要件に記載の連名申請を行う場合は、各申請者の法人の名称等を記入してください。以下、他の様式も同じ。

4

様式第1（応募申請書）の記入方法 2/2

5. 補助金交付申請額（注4）		
(1) 補助対象事業に要する経費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円
(2) 補助対象経費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円
(3) 補助金交付申請額	1年度目	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円
6. 補助対象事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額（別紙1）		
7. 役員名簿（別紙2）		
8. 補助対象事業の開始及び完了予定日 交付決定日 ～ 2027年2月26日		

（注1）補助対象事業の名称（発電所名称もしくは蓄電所名）は仮称でも問題ない。

（注2）「補助事業の種別」として、①単年度事業または②複数年度事業のいずれかを選択すること。

（注3）「補助対象事業の計画概要」には、各年度において完了を見込んでいる手続や工事等の概要を記載すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

（注4）「補助金交付申請額」のうち、(1) 補助対象事業に要する経費には、年度ごとに要する経費の総額を記載すること。(2) 補助対象経費には、(1) のうち補助対象となる経費の額を年度ごとに記載すること。(3) 補助金交付申請額には、(2) のうち補助金交付を申請する額を年度ごとに記載すること。ただし、(1) (2) (3) のいずれにおいても①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

【本様式全体に関わる留意点】

- ・ 本様式はWordファイル“様式第1”で提供します。
- ・ 記入すべき箇所以外の内容は変更しないでください。

- 5(1) 各年度における様式第4-1の「⑬補助事業に要する経費（円）」の合計金額を記入してください。
- 5(2) 各年度における様式第4-1の「⑭補助対象経費（円）」の合計金額を記入してください。
- 5(3) 各年度における様式第4-1の「⑯補助金交付申請額（円）」の合計金額を記入してください。
- 8 様式第4-1の「⑪運転開始予定日」のうち、最も遅い日付を記入してください。なお、三次公募は複数年度事業のみ公募対象であるため、令和9（2027）年2月26日を超えないように注意してください。

※公募要領1-5における第1要件に記載の連名申請を行う場合は、各申請者の法人の名称等を記入してください。以下、他の様式も同じ。

様式第1 別紙1-1（補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額）の記入方法

(別紙1-1)

1. 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額

(単位: 円)

補助対象 経費の区分	年度	補助事業に 要する経費 (注1)	補助対象経費の額 (注2)	補助率 (注3)	補助金交付申請額 (注4)
設計費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円	1/2	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
設備購入費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円	1/2 1/3	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
土地造成費 (注5)	1年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円	1/2	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
工事費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円	1/2 1/3	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
接続費	1年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円	1/2	XXX,XXX,XXX 円
	2年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
	3年度目	XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円		XXX,XXX,XXX 円
合計		XXX,XXX,XXX 円	XXX,XXX,XXX 円	1/2 1/3	XXX,XXX,XXX 円

注1:「補助事業に要する経費」とは、当該事業を遂行するために必要な経費を指します。なお、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注2:「補助対象経費」には、「補助事業に要する経費」のうち、補助対象となる経費について、消費税及び地方消費税相当額を差し引いた金額を年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注3:「補助率」は、自治体連携型の場合は2/3以内、それ以外は1/2以内、蓄電池の設置に係る経費は蓄電池の種類及び定格出力により1/2または1/3以内。適用される補助率のいずれか、若しくは全てを記入すること。

注4:「補助金交付申請額」は、「補助対象経費」のうち補助金の交付を希望する額で、その限度は整備する発電所ごとに「補助対象経費」にその発電所に適用される補助率を乗じた額の合計(1円未満は切り捨て)のことをいいます。「補助金交付申請額」は年度ごとに記入すること。ただし、①単年度事業の場合は1年度目のみ記載すること。

注5:土地造成費について、発注・工事に着手済みの経費は、補助対象経費の額に含めることはできません。

【本様式全体に関わる留意点】

- ここで記入する金額は、様式第4-1の⑬～⑯の欄から転記してください。

① 各年度における様式第4-1の「⑬補助事業に要する経費(円)」の各項目の合計金額を記入してください。

② 各年度における様式第4-1の「⑭補助対象経費(円)」の各項目の合計金額を記入してください。

③ 様式第4-1の「⑮適用される補助率」を記入してください
注意:「補助率」は、自治体連携型の場合は2/3以内、それ以外は1/2以内。蓄電池の設置に係る経費については、蓄電池の種類及び定格出力により1/3または1/4以内を選択してください。適用される補助率のいずれか、あるいは補助率が混在する場合は両方を記入してください。※

④ 各年度における様式第4-1の「⑯補助金交付申請額(円)」の各項目の合計の金額を記入してください。

※必ず公募要領を確認して記述してください。

様式第1 別紙1-2（役員名簿）の記入方法

役員名簿								
氏名カナ	氏名漢字	生年月日				性別	会社名	役職名
		和暦	年	月	日			
タイヨウ タロウ	太陽 太郎	S	30	12	XX	M	株式会社需要家太陽	代表取締役社長
ハツデン ハナコ	発電 花子	S	35	4	XX	F	株式会社需要家太陽	常務取締役
...	...	...	...	...	...	...	...	...

（注）

役員名簿については、氏名カナ（半角、姓と名の間も半角で1マス空け）、氏名漢字（全角、姓と名の間も全角で1マス空け）、生年月日（半角で大正はT、昭和はS、平成はH、数字は2桁半角）、性別（半角で男性はM、女性はF）、会社名及び役職名を記載する。

また、外国人については、氏名欄にはアルファベットを、氏名カナ欄は当該アルファベットのカナ読みを記載すること。



【本様式全体に関わる留意点】

- 役員の定義は原則会社法上の役員としてください。
（参考）国税庁サイト

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/hojin/5200.htm>

様式第1 別紙1-3：誓約書の記入方法

(別紙1-3)

誓約書

1

株式会社需要家太陽が行う令和5年度補正予算需要家主導型太陽光発電導入支援事業に申請及び実施に際して、以下の事項を遵守することを宣誓し、誓約する。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てない。

2

1. 本補助金の交付規程及び公募要領に定める要件等を理解し、株式会社需要家太陽が当該要件等を遵守して補助対象事業を実施することができるよう協力を努める。
2. 蓄電池導入を合わせて行う場合は、下記を遵守し、蓄電池の要件を満たすことを証する書類として提出する。
 - 1) 資源エネルギー庁による電力需給ひっ迫警報及び注意報、並びに一般送配電事業者による電力需給ひっ迫準備情報が発出された際、当該電力需給ひっ迫警報等による節電等の要請時間帯において、可能な限り導入する蓄電池を利用した電力供給を行うこと。
 - 2) 蓄電及び放電した時間や電力量などの蓄電池に係る運用実績を取得、保管するとともに、需要家主導型太陽光・蓄電池導入支援事務局が要請した場合には、当該運用実績を提出すること。
 - 3) 採用予定の蓄電システムのBMSのメーカー等について、過去5年間の実績を含め、国際的に受け入れられた基準等に反していないこと、その他の開発供給の適切性が確保されていること。
3. 補助金の申請内容に対する虚偽又は小売電気事業者及び需要家による当該要件等に合理的な理由なく違反する行為が認められた場合は氏名の公表に応じる。

3

2024年XX月XX日

4

XXXX 電力株式会社
代表取締役社長 ○○ ○○ 印

※本宣誓書は、小売電気事業者及び需要家の全てがそれぞれ作成すること。

!

【本様式全体に関わる留意点】

- この誓約書は、小売電気事業者及び全ての需要家が個別に作成して提出してください。
- なお、記入すべき箇所以外の内容は変更しないでください。

!

内容を確認の上、誓約してください。

1

補助対象事業者（申請者）名を記入してください。

2

補助対象事業者（申請者）名を記入してください。

3

作成日付を記入してください。

4

法人の名称及び代表者の氏名（個人事業主の場合は氏名）を記載し、社印（個人事業主の場合は他の印鑑も可能）を押印してください。

様式第2（実施計画書）の記入方法(1/2)

【本様式全体に関わる留意点】

- 網掛けのセルは、他の様式から自動転記、自動計算されますので、入力できません。

(様式第2)
実施計画書

申請者 住所
法人の名称
代表者氏名

東京都港区新橋XXX-XX
株式会社 需要家太陽
太陽 太郎

①	事業完了予定日	2025/2/28
②	補助対象設備の合計出力	3,000.0 k W
③	蓄電池の導入容量の合計（補助対象設備分）	2,250.0 k W h
③	蓄電池の導入容量の合計（補助対象設備以外も含む）	2,750.0 k W h
④	補助事業に要する経費の合計額	632,250,000 円
⑤	補助対象設備の単価 （蓄電池を併設しない補助対象設備の単価）	167,750 円/ k W
⑤	補助対象設備の単価 （蓄電池を併設する補助対象設備（蓄電池を除く）の単価）	115,759 円/k W
⑤	蓄電池の単価	30,000 円/k W h
⑥	補助対象設備の整備箇所数	3 箇所
⑦	蓄電池の導入箇所数	2 箇所
⑧	補助対象設備 1 箇所当たりの平均出力規模（AC）	1,000.0 k W/箇所
⑨	補助対象設備の平均積載率 （蓄電池を併設する補助対象設備）	142.5%
⑨	補助対象設備の平均積載率 （蓄電池を併設しない補助対象設備）	120.0%
⑩	系統からの充電の可能性有無（蓄電池を導入する場合）	有
⑪	需要家による電気の利用に関する契約等の期間	8 年 2025 年 4 月 1 日～ 2033 年 3 月 31 日
⑫	電気の利用に関する契約等を行う需要家の数（法人数）	3 社 社
⑬	補助対象設備の 1 需要地当たりの平均出力規模	600.0 k W/箇所
⑭	補助対象設備による発電量に対する需要家の買取率	100.0%
⑮	補助対象設備による計画発電量 （想定平均稼働率）	3,942,000 k W h/年 15.0%
⑯	補助対象設備によって発電した電気を供給する小売電気事業者の名称	XXXX電力株式会社
⑰	補助対象設備の系統連系に係る接続検討申込（低圧設備にあっては系統連系申込）を行った日	2024 年〇月〇日
⑱	補助対象設備の系統連系に係る接続検討結果の回答（低圧設備にあっては系統連系申込に対する回答）を得た日	2024 年×月×日
⑲	補助対象設備の保守点検・維持管理の方法	発電設備の保守点検・維持管理について、発電所ごとに責任者を配置し、年に〇回程度の頻度で太陽電池モジュール当の設備の運転状況に関する点検を実施する他、毎日の巡回点検を行うとともに、雑草の除去等の清掃作業を年に〇回実施する。
⑳	保険加入の計画	全ての発電所において、〇〇年〇〇月頃に火災保険及び第三者賠償保険への加入を予定している。
㉑	補助対象設備の解体・撤去に係る廃棄等費用の確保の計画	廃棄費用について、廃棄等費用積み立てガイドライン等を参考に〇〇〇万円と試算。発電事業の実施中に年間〇〇万円規模の積立てを〇〇において行い、計画的な積立てを予定。また、発電所発電事業終了後は、発電所近所の〇〇などの中間処理業者に引き渡しを計画しており、可能な限りリサイクル等の資源回収回収を行わせる上で処分を行う。
㉒	申請事業者、小売電気事業者、需要家全てのパートナーシップ構築宣言	発電事業者、小売電気事業者、需要家全て宣言あり
㉓	地域未来牽引企業に選定されている需要家の参画	参画している 需要家名：株式会社 EEE電機
㉔	地域経済牽引事業計画が各都道府県に承認されている需要家の参画	参画している 需要家名：株式会社 EEE電機

！ 記入内容（手動入力部分）

⑩

系統からの充電の可能性の有無を選択してください（※蓄電池を導入する場合のみ）。

⑪

需要家との電気利用の年数・契約期間を記載してください。なお、需要家が複数ある場合は、最も期間の短い契約等の期間を記載してください。

⑰

系統連系に係る接続検討申込（低圧は系統連系申込）を行った日を記入してください。複数ある場合は、最も遅い日を入力してください。

⑱

全ての系統連系に係る接続検討結果の回答（低圧は系統連系申込に対する回答）を得た日を記入してください。複数ある場合は、最も遅い日を入力してください。接続検討申込のいずれかにて回答が未だ得られていない場合は「未回答」と記入してください。

⑲

保守点検・維持管理の方法について、記入してください。別紙で保守点検・維持管理の体制図、保守点検責任者、保守点検周期等の計画等を記載いただいても構いません（様式自由）。

⑳

保険加入の計画について、記入してください。

㉑

廃棄等費用の計画について、記入してください。別紙で記載いただいても構いません（様式自由）。

㉒

申請者、小売電気事業者、需要家に関して、パートナーシップ構築の宣言の有無を選択してください。
注意：申請者、小売電気事業者、需要家いずれか1事業者でもパートナーシップ構築の宣言をしていない場合は「宣言なし」を選択してください。

㉓

地域未来牽引企業に選定されている事業者が本事業の需要家として参画しているかの有無を選択してください。参画している場合、その需要家名を全て記載してください。

㉔

地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画が各都道府県に承認されている事業者が本事業の需要家として参画しているかの有無を選択してください。参画している場合、その需要家名を全て記載してください。

(自動入力項目は次頁をご参照ください)

※公募要領1-5における第 1 要件に記載の連名申請を行う場合は、複数の申請者名を記載する必要があります。事務局へ連絡し、必要な様式を入手してください。

様式第2（実施計画書）の記入方法(2/2)

【本様式全体に関わる留意点】

- 網掛けのセルは、他の様式から自動転記、自動計算されますので、入力できません。

(様式第2)
実施計画書

申請者 住所
法人の名称
代表者氏名

東京都港区新橋XXX-XX
株式会社 需要家太陽
太陽 太郎

①	事業完了予定日	2025/2/28
②	補助対象設備の合計出力	3,000.0 k W
③	蓄電池の導入容量の合計（補助対象設備分）	2,250.0 k W h
③	蓄電池の導入容量の合計（補助対象設備以外も含む）	2,750.0 k W h
④	補助事業に要する経費の合計額	632,250,000 円
⑤	補助対象設備の単価 （蓄電池を併設しない補助対象設備の単価）	167,750 円/ k W
⑤	補助対象設備の単価 （蓄電池を併設する補助対象設備（蓄電池を除く）の単価）	115,759 円/kW
⑤	蓄電池の単価	30,000 円/kW h
⑥	補助対象設備の整備箇所数	3 箇所
⑦	蓄電池の導入箇所数	2 箇所
⑧	補助対象設備 1 箇所当たりの平均出力規模（AC）	1,000.0 k W/箇所
⑨	補助対象設備の平均積載率 （蓄電池を併設する補助対象設備）	142.5%
⑨	補助対象設備の平均積載率 （蓄電池を併設しない補助対象設備）	120.0%
⑩	系統からの充電の可能性有無（蓄電池を導入する場合）	有
⑪	需要家による電気の利用に関する契約等の期間	8 年 2025年 4月 1日～ 2033年 3月 31日
⑫	電気の利用に関する契約等を行う需要家の数（法人数）	3社 社
⑬	補助対象設備の 1 需要地当たりの平均出力規模	600.0 k W/箇所
⑭	補助対象設備による発電量に対する需要家の買取率	100.0%
⑮	補助対象設備による計画発電量 （想定平均稼働率）	3,942,000 k W h/年 15.0%
⑯	補助対象設備によって発電した電気を供給する小売電気事業者の名称	XXXX電力株式会社
⑰	補助対象設備の系統連系に係る接続検討申込（低圧設備にあっては系統連系申込）を行った日	2024年〇月〇日
⑱	補助対象設備の系統連系に係る接続検討結果の回答（低圧設備にあっては系統連系申込に対する回答）を得た日	2024年×月×日
⑲	補助対象設備の保守点検・維持管理の方法	発電設備の保守点検・維持管理について、発電所ごとに責任者を配置し、年に〇回程度の頻度で太陽電池モジュール当の設備の運転状況に関する点検を実施する他、毎日の巡回点検を行うとともに、雑草の除去等の清掃作業を年に〇回実施する。
⑳	保険加入の計画	全ての発電所において、〇〇年〇〇月頃に火災保険及び第三者賠償保険への加入を予定している。
㉑	補助対象設備の解体・撤去に係る廃棄等費用の確保の計画	廃棄費用について、廃棄等費用積み立てガイドライン等を参考に〇〇〇万円と試算。発電事業の実施中に年間〇〇万円規模の積立てを〇〇において行い、計画的な積立てを予定。また、発電所発電事業終了後は、発電所近所の〇〇などの中間処理業者に引き渡しを計画しており、可能な限りリサイクル等の資源回収回収を行われた上で処分を行う。
㉒	申請事業者、小売電気事業者、需要家全てのパートナーシップ構築宣言	発電事業者、小売電気事業者、需要家全て宣言あり
㉓	地域未来牽引企業に選定されている需要家の参画	参画している 需要家名：株式会社 EEE電機
㉔	地域経済牽引事業計画が各都道府県に承認されている需要家の参画	参画している 需要家名：株式会社 EEE電機

- 自動入力内容
- ①

様式第4-1の「⑪運転開始予定日」が転記されます。
- ②

様式第4-1の「①定格出力AC（kW）」の合計が転記されます。
- ③

様式第4-1の「⑥-3補助対象蓄電池容量（kW h）」の合計が転記されます。「⑥-2蓄電池容量（kW h）」の合計が転記されます。
- ④

様式第4-1の「⑬補助事業に要する経費（円）」の合計額が転記されます。
- ⑤

様式第4-1の「⑰蓄電池を併設しない補助対象設備の単価（円/kW）」が転記されます。「⑰蓄電池を併設する補助対象設備（蓄電池を除く）の単価（円/kW）」が転記されます。「⑰蓄電池の単価（円/kWh）」が転記されます。
- ⑥

様式第2 別紙2-1の「②補助対象発電所の総数」が転記されます。
- ⑦

様式第4-1の「⑥_1蓄電池の有無と接続位置」に関して「有」の合計数が転記されます。
- ⑧

様式第2「②合計出力／⑥補助対象設備の整備箇所数」の計算結果が転記されます。
- ⑨

様式第4-1の「③-2積載率」の合計（平均値）が転記されます。「③-1積載率」の合計（平均値）が転記されます。
- ⑫

様式第2 別紙2-2の「⑩需要家の総数」が転記されます。
- ⑬

様式第2「②合計出力／様式2 別紙2-2の⑩需要地の総数」の計算結果が転記されます。
- ⑭

様式第4-2の「買取率（％）」が転記されます。
- ⑮

様式第4-1の「⑤計画発電量（kWh/年）」の合計及び「④想定稼働率（％）」の合計（平均値）が転記されます。
- ⑯

様式第2 別紙2-2の「小売電気事業者-①法人の名称」が転記されます。

※公募要領1-5における第 1 要件に記載の連名申請を行う場合は、複数の申請者名を記載する必要があります。事務局へ連絡し、必要な様式を入手してください。

様式第2 別紙2-1（申請者情報）の記入方法

（様式第2）実施計画書
（別紙2-1）

申請者情報（発電事業者）

①	申請事業者数	1社
②	補助対象発電所の総数	3箇所

申請事業者①

③	法人の名称	株式会社 需要家太陽
④	法人の名称（カナ）	カブシキガイシャ ジュヨウカタイヨウ
⑤	法人番号	XXXXXXXX
⑥	代表者氏名	太陽 太郎
⑦	所在地	東京都港区新橋XXX-XX
⑧	代表電話番号	XX-XXXX-XXXX
⑨	資本金	10,000 万円
⑩	従業員数	300 人（正社員の数）
⑪	主たる業種	太陽光発電事業
⑫	補助対象発電所の数	3 箇所
⑬	パートナーシップ構築宣言	宣言あり

申請責任者①

⑭	氏名	太陽 三郎
⑮	氏名（カナ）	タイヨウ サ부로ウ
⑯	部署・役職	技術部 部長
⑰	所在地	東京都港区新橋XXX-XX
⑱	電話番号	XX-XXXX-XXXX
⑲	携帯電話番号	XXX-XXXX-XXXX
⑳	メールアドレス	Taiyou.saburou@juyouka.co.jp

【本様式全体に関わる留意点】

- 申請事業者の情報を記入してください。

① 申請事業者数を記入してください。なお、他シートの自動計算に使用するため、数字のみ入力してください。

② 様式第4-1に記入する発電所の総数を記入してください。なお、他シートの自動計算に使用するため、数字のみ入力してください。

③ 申請事業者の情報を入力してください。他の書類と相違ないように記入をお願いします。

⑬では、申請事業者のパートナーシップ構築宣言の有無を選択してください。

⑭ 申請事業者の責任者の情報を記入してください。
申請書や申請内容について、問い合わせる場合があるので、必ず連絡可能な電話番号、メールアドレスを記入してください。

様式第2 別紙2-2（関係者情報）の記入方法

（様式第2）実施計画書
（別紙2-2）

関係者情報（小売電気事業者・需要家）

小売電気事業者に関する情報

①	法人の名称	XXXX電力株式会社
②	法人の名称（カナ）	パツパツパツパツデンリョクカブシキガイシャ
③	法人番号	XXXXXXXX
④	代表者の氏名	電力 次郎
⑤	所在地	東京都新宿区XXX XXX-XXX
⑥	代表電話番号	XX-XXXX-XXXX
⑦	資本金	200,000 万円
⑧	従業員数	50 人（正社員の数）
⑨	パートナーシップ構築宣言	宣言あり

需要家に関する情報

⑩	需要家の総数	3社
⑪	需要地の総数	5箇所
⑫	全ての需要家が同一市町村 ※またはエリアの一体性が説明できる場合	YES 需要家番号：1

需要家①

⑬	法人の名称又は氏名	株式会社 EEE電機
⑭	法人の名称又は氏名（カナ）	カブシキガイシャイーイーデンキ
⑮	法人番号	XXXXXXXX
⑯	代表者の氏名	電機 五郎
⑰	所在地	東京都大田区XXX XXX-XXX
⑱	代表電話番号	XX-XXXX-XXXX
⑲	資本金	500,000 万円
⑳	従業員数	500 人（正社員の数）
㉑	主たる業種（日本標準産業分類の大分類・小分類の記号・番号・分類項目名記載）	E製造業- ⑨2911:発電機・電動機・その他の回転電気機械製造業
㉒	需要地の数	2 箇所
㉓	パートナーシップ構築宣言	宣言あり
㉔	地域未来牽引企業の選定	選定されている
㉕	地域経済牽引事業計画の承認	承認されている
㉖	需要家全ての直近1年間の取引関係 （サプライチェーン型）	取引関係あり 需要家番号：②、③

【本様式全体に関わる留意点】

- 申請事業者の情報を記入してください。

小売電気事業者の情報を入力してください。他の書類と相違ないように記入をお願いします。

- ⑨ 小売電気事業者のパートナーシップ構築宣言の有無を選択してください。

- ⑩ 需要家の総数を記入してください。

- ⑪ 全需要家の需要地の総数を記入してください。

- ⑫ 2者以上の需要家に供給する事業であって、全ての需要家が同一市町村に属している場合、需要家番号をすべて記入してください。
※ただし、同一市町村でない場合であっても、エリアの一体性が説明できる場合を含む。

需要家の情報を入力してください。他の書類と相違ないように記入をお願いします。なお、複数の需要家がいる場合は、表をコピーして、情報を追加記入してください。

- ⑬ 需要家のパートナーシップ構築宣言の有無を選択してください。

- ⑭ 需要家の地域未来牽引企業への選定有無を選択してください。

- ⑮ 需要家の地域経済牽引事業計画について承認有無を選択してください。

- ⑯ 2者以上の需要家に供給する事業であって、全ての需要家が、いずれか別の需要家と、直近1年間に取引関係がある場合、需要家番号をすべて記入してください。

様式第3（実施体制）の記入方法

(様式第3)

実施体制

申請者 住所

法人の名称

代表者氏名

1 申請者（発電事業者）
（株）需要家太郎
代表者名：太陽 太郎
連絡先電話番号：XXXX-XX-XXXX
発電所出力合計(AC):3.0MW
発電所合計発電量合計:3,950MWh/年

2 申請者と小売電気事業者による電気の供給に関する契約を締結
契約締結期間（予定）
XX年XX月～XX年XX月

3 小売電気事業者と需要家1社による申請者の発電した電気利用に関する契約を締結
契約締結期間（予定）
XX年XX月～XX年XX月

4 各需要地の年間買取量を記入してください。

5 需要地買取量合計：33,800MWh/年

発電所1
AAA発電所
1.5 MW
(2000MWh/年)

発電所2
BBB発電所
1.0 MW
(1300MWh/年)

発電所3
CCC発電所
0.5 MW
(650MWh/年)

小売電気事業者
XXXX電力小売り（株）

需要家1
（株）EEE電機

需要家2
（株）FFF電機

需要家3
（株）GGG電機

需要地1
AAA事業所
1,280MWh/年

需要地2
BBB事業所
1,000MWh/年

需要地3
CCC事業所
1,100MWh/年

※申請者、小売電気事業者、需要家の関係を図で示してください。
※電力の利用に関する契約等の関係についても記入してください。

【本様式全体に関わる留意点】

- 電力の利用に関する契約等の関係が明らかになるように、申請者（発電事業者）、小売電気事業者、需要家の関係を図示してください。
- 必要に応じて、本様式の別紙として作成しても結構です。その場合は、「様式第3 別紙」としてEXCELにより作成してください。

- 各発電所の出力（AC）、年間計画発電量と、発電所合計の出力（AC）、年間計画発電量も記載してください。
- 申請者と小売電気事業者による電気の供給に関する契約の概要を記入してください。別紙で作成することでも構いません。
- 小売電気事業者と需要家による申請者の発電した電気利用に関する契約の概要を記入してください。別紙で作成することでも構いません。
- 各需要地の年間買取量を記入してください。
- 需要地合計の買取量を記載してください。

様式第4-1（補助対象設備の整備計画 1．導入設備）における記入シートと留意事項

!

【本様式全体に関わる留意点】

- 単年度事業と複数年度事業のうち、どちらの事業種別に応募申請するかによって、記入対象シートが異なります。三次公募では複数年度事業のみ公募対象であるため、複数年度用のシートに記入してください。

記入対象シート

単年度事業 に応募申請する場合

様式第4-1導入設備（単年度事業）

発電所番号	合計		①	②	③.1	③.2
	発電所名	設置場所住所	定格出力 AC(kW)	太陽電池容量 DC(kW)	積載率 (蓄電池併設) (%)	積載率 (蓄電池無し) (%)
			0.0	0.0	0.0%	0.0%
1	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
2	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
3	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
4	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
...						

複数年度事業 に応募申請する場合

様式第4-1導入設備（複数年度事業_3年度目）

様式第4-1導入設備（複数年度事業_2年度目）

様式第4-1導入設備（複数年度事業_1年度目）

発電所番号	合計		①	②	③.1	③.2
	発電所名	設置場所住所	定格出力 AC(kW)	太陽電池容量 DC(kW)	積載率 (蓄電池併設) (%)	積載率 (蓄電池無し) (%)
			0.0	0.0	0.0%	0.0%
1	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
2	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
3	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
4	XXX	XXX	0	0	0.0%	0.0%
...						

留意事項

- 単年度事業に申請する場合は「様式第4-1導入設備（単年度事業）」シートにご記入ください。
- 網掛けのセルは他のセルや様式から自動転記・自動計算されるため、入力できません。網掛けのない空白のセルにご記入ください。
- 複数年度用のシートには記入しないでください。

- 複数年度事業に申請する場合は「様式第4-1導入設備（複数年度事業_1年度目）」～「様式第4-1導入設備（複数年度事業_3年度目）」シートから、申請する年度分のシートにのみ、ご記入ください。
- 網掛けのセルは他のセルや様式から自動転記・自動計算されるため、入力できません。網掛けのない空白のセルにご記入ください。
- 各年度で変化しない項目（発電所名や太陽電池容量等）は、2年度目以降は自動入力されるため、1年度目のみ記入してください。
- 単年度用のシートには記入しないでください。

様式第4-1（補助対象設備の整備計画 1．導入設備）の記入方法（1/5）

【本様式全体に関わる留意点】

- ・ 三次公募では複数年度事業のみ公募対象であるため、「様式第4-1導入設備（複数年度事業_X年度目）シートを入力してください。
- ・ 発電所100か所まで利用可能なフォーマットとなります。発電所総数がこれを超える場合は、事務局へ連絡し、必要なツールを入手してください。
- ・ 網掛けのセルは、他の様式からの自動転記、自動計算なので入力できません。網掛けの無いセルに必要事項を入力してください。
- ・ 各行には各発電所の情報を行を空けずに、順に記入してください。
- ・ 発電所番号は1から連番で記入してください。
- ・ 他セルからのコピー＆ペーストによる入力は自動計算機能の誤作動を生じさせる可能性があるため、各セルにデータを入力する際は手動で入力してください。

(様式第4-1) 補助対象設備の整備計画（総括表）：1年度目

申請者 住所

法人の名称

代表者氏名

1. 導入予定の設備・機器について

様式4-1の合計は、いずれも自動計算・転記されます。

①	②	③_1	③_2	④	⑤			
定格出力 AC(kW)	太陽電池容量 DC(kW)	積載率 (蓄電池併設) (%)	積載率 (蓄電池無し) (%)	想定稼働率 (%)	計画発電量 (kWh/年)			
合計	3,000.0	3,900.0	142.5%	120.0%	15.0%	3,942,000.0		
発電所 番号	発電所名	設置場所住所						
1	AAA発電所	埼玉県東松山市XXX XXXX-XX	1,500.0	1,800.0	0.0%	120.0%	15.2%	1,997,280.0
2	BBB発電所	埼玉県比企郡吉見町XXX XXXX-XX	1,000.0	1,350.0	135.0%	0.0%	14.8%	1,296,480.0
3	CCC発電所	埼玉県秩父市XXX XXXX-XX	500.0	750.0	150.0%	0.0%	14.8%	648,240.0

エラー例
各項目名と総計部分の数字が黄色になっている場合や
各発電所の記入した数字がピンク色になっている場合
は、公募要件を満たしていないため再確認してください。

定格出力 AC(kW)
1,025.0
1,000.0
25.0

各発電所の代表住所を記入してください。
添付4に記載の住所と一致していることを確認してください。

記入内容 ※以下、番号は上記の図中の番号を指す

- ① パワーコンディショナの定格出力の合計を記入してください。ただし、②の出力よりも多い場合は、公募要領1-6. ivに従い、②の値を記入してください。
- ② 太陽電池モジュールの定格出力の合計を記入してください。
- ④ 各発電所の想定稼働率を記入してください（蓄電池を併設する場合は、蓄電池を設置したことを加味した稼働率とすること。）

自動入力内容

- ③_1 蓄電池を併設する場合の積載率が記載されます。
- ③_2 蓄電池を併設しない場合の積載率が記載されます。
- ⑤ ①×24時間×365日×④想定稼働率(%)の計算値が記載されます。

様式第4-1（補助対象設備の整備計画 1. 導入設備）の記入方法（2/5）

⑥_1	⑥_2	⑥_3	⑦	⑧_1	⑧_2	⑨	⑩	⑪	⑫
蓄電池の有無と 接続位置	蓄電池容量 (kWh)	補助対象 蓄電池容量 (kWh)	接続検討等の 回答の有無	設置形態	設置形態 (詳細) 建築物上設置の場合	土地造成の 状況	設置場所（土 地・建物等） の所有	運転開始 予定日	設備の 廃止予定日
	2,750.0	2,250.0						2025/2/28	2041/2/13
無		0.0	有	地上 (野立て)		造成要・完了	所有	2025/2/28	2041/2/13
有・DC側接続	750.0	750.0	有	地上 (野立て)		造成不要	所有	2025/2/28	2041/2/13
有・AC側接続	2,000.0	1,500.0	無	地上 (野立て)		造成不要	所有	2025/2/28	2041/2/13



記入内容

- ⑥_1 蓄電池の有無と、接続位置がパワーコンディショナのDC側かAC側か記入してください。
- ⑥_2 蓄電池を設置する場合は、蓄電池の容量を記入してください。
- ⑦ 系統連系に係る接続検討申込等の回答の有無を選択してください。
- ⑧_1 各発電設備の設置形態を、以下の選択肢から選んでください。
●選択肢・・・地上(野立て)、地上(営農型)、地上(営農型)※荒廃農地の再生利用の場合、地上(水上型)、建築物上(新築)、建築物上(既築)
- ⑧_2 各発電設備が建築物上の設置の場合、詳細について選択肢から選んでください。
- ⑨ 各発電設備の発電設備の土地造成の状況について、選択肢から選んでください。
- ⑩ 各発電設備の設置場所（土地・建物等）の所有状況について、選択肢から選んでください。
- ⑪ 各発電設備の運転開始予定日について、年/月/日を記入してください。合計には最も遅い日が記載されます。ただし、**三次公募では複数年度事業のみ公募対象であるため、令和9年（2027）年2月26日を超えない範囲で記入してください。**
- ⑫ 各発電設備の廃止予定日について、年/月/日を記入してください。未定の場合は「未定」と記載してください。合計には最も早い日が記載されます。

自動入力内容

- ⑥_3 補助対象蓄電池容量(kWh)の計算値が記載されます。

様式第4-1（補助対象設備の整備計画 1. 導入設備）の記入方法（3/5）

⑬補助事業に要する経費（円）													
合計	設計費			設備購入費					土地 造成費	工事費			接続費
	太陽光等	蓄電池に係る 経費	小計	太陽電池 モジュール	PCS	その他	蓄電池に係る 経費	小計		太陽光等	蓄電池に係る 経費	小計	
632,250,000	16,000,000	4,000,000	20,000,000	275,000,000	74,000,000	45,500,000	40,000,000	434,500,000	38,000,000	64,750,000	40,000,000	104,750,000	35,000,000
276,750,000	8,000,000		8,000,000	125,000,000	36,000,000	22,500,000		183,500,000	38,000,000	27,250,000		27,250,000	20,000,000
211,500,000	5,000,000	2,000,000	7,000,000	95,000,000	26,000,000	14,000,000	20,000,000	155,000,000	0	19,500,000	20,000,000	39,500,000	10,000,000
144,000,000	3,000,000	2,000,000	5,000,000	55,000,000	12,000,000	9,000,000	20,000,000	96,000,000	0	18,000,000	20,000,000	38,000,000	5,000,000

⑬ 補助対象事業の実施に要する総経費を記載してください。なお、交付決定前に着手済みの土地造成に要した補助対象外費用も、本欄の土地造成費に含めてご記入ください。

※「蓄電池に係る経費」については、蓄電池の導入に伴って必要となる経費であることが明確な金額のみ記載してください。それ以外の設計費・工事費に関しては「太陽光等」に記載してください。

⑭補助対象経費（円）														⑮適用される補助率	
合計	設計費			設備購入費					土地 造成費	工事費			接続費	太陽光等	蓄電池
	太陽光等	蓄電池に係る 経費	小計	太陽電池 モジュール	PCS	その他	蓄電池に係る 経費	小計		太陽光等	蓄電池に係る 経費	小計			
539,375,000	13,000,000	4,000,000	17,000,000	275,000,000	74,000,000	44,500,000	40,000,000	433,500,000	20,000,000	31,375,000	20,000,000	51,375,000	17,500,000		
233,625,000	6,500,000		6,500,000	125,000,000	36,000,000	22,500,000		183,500,000	20,000,000	13,625,000		13,625,000	10,000,000	1/2	
185,250,000	4,000,000	2,000,000	6,000,000	95,000,000	26,000,000	14,000,000	20,000,000	155,000,000	0	9,250,000	10,000,000	19,250,000	5,000,000	1/2	1/3
120,500,000	2,500,000	2,000,000	4,500,000	55,000,000	12,000,000	8,000,000	20,000,000	95,000,000	0	8,500,000	10,000,000	18,500,000	2,500,000	1/2	1/3

⑭ ⑬のうち補助対象となる経費を記入してください。補助対象経費は、原則として、交付決定後に契約・発注等を行う設計費、設備購入費、土地造成費、工事費及び接続費を記入してください。なお、事前着手申請をする土地造成費は本欄に含めてください。補助対象経費の詳細は、公募要領を参考にしてください。
また、「蓄電池に係る経費」については、蓄電池の導入に伴って必要となる経費であることが明確な金額のみ記載してください。それ以外の設計費・工事費に関しては「太陽光等」に記載してください。

⑮ 補助対象設備における補助率は自治体連携型が2/3、それ以外は1/2となります。
また、蓄電池の設置に係る経費については、蓄電池の種類及び定格出力に応じて1/3または1/4以内を選択してください。各発電所ごとに補助率を選択してください。

様式第4-1（補助対象設備の整備計画 1. 導入設備）の記入方法（4/5）

⑭補助金交付申請額（円）													
合計	設計費			設備購入費					土地 造成費	工事費			接続費
	太陽光等	蓄電池に係る 経費	小計	太陽電池 モジュール	PCS	その他	蓄電池に係る 経費	小計		太陽光等	蓄電池に係る 経費	小計	
259,020,830	6,500,000	1,333,332	7,833,332	137,500,000	37,000,000	22,250,000	13,333,332	210,083,332	10,000,000	15,687,500	6,666,666	22,354,166	8,750,000
116,812,500	3,250,000	0	3,250,000	62,500,000	18,000,000	11,250,000	0	91,750,000	10,000,000	6,812,500	0	6,812,500	5,000,000
87,291,665	2,000,000	666,666	2,666,666	47,500,000	13,000,000	7,000,000	6,666,666	74,166,666	0	4,625,000	3,333,333	7,958,333	2,500,000
54,916,665	1,250,000	666,666	1,916,666	27,500,000	6,000,000	4,000,000	6,666,666	44,166,666	0	4,250,000	3,333,333	7,583,333	1,250,000

自動入力内容

⑯ ⑭×⑮の計算結果が記載されます。

⑮補助対象経費の単価					
蓄電池を併設しない 補助対象設備		蓄電池を併設する補助対象設備 (蓄電池を除く)		蓄電池	
(円/ kW)	単価計算用 経費	(円/kWh) ※DC	単価計算用 経費	(円/kWh)	単価計算用 経費
167,750	251,625,000	115,759	241,750,000	30,000	60,000,000
167,750	251,625,000	0	0	0	0
0	0	113,518	153,250,000	40,000	30,000,000
0	0	118,000	88,500,000	20,000	30,000,000

自動入力内容

⑰ 補助対象経費の「蓄電池を併設しない補助対象設備」「蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)」「蓄電池」単価は右図の通り算出されます。算出において、設計費や設備導入費等の各種費用については基本的に“⑭補助対象経費”を使用し、土地造成費のみ“⑬補助事業に要する経費における土地造成費”を使用します。

①蓄電池を併設しない場合

(蓄電池を併設しない補助対象設備の単価)

$$\text{補助対象経費の単価 (万円/kW)} = \frac{\text{設計費} + \text{設備購入費} + \text{土地造成費} + \text{工事費} + \text{接続費 (円)}}{\text{補助対象設備の定格出力 (kW) (ACベース)}}$$

②蓄電池を併設する場合

(蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)の単価)

$$\text{補助対象経費の単価 (万円/kW)} = \frac{\text{設計費} + \text{設備購入費} + \text{土地造成費} + \text{工事費} + \text{接続費 (円)}}{\text{太陽光発電設備の定格出力 (kW) (DCベース)}}$$

(蓄電池の単価)

$$\text{蓄電池の単価 (万円/kWh)} = \frac{\text{蓄電池に係る以下の経費の合計 (設備購入費} + \text{工事費 (円))}}{\text{蓄電池の容量 (kWh)}}$$

※蓄電池の単価の算出に際しては、蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)の単価と重複がないよう設計費等を設備ごとに区分すること。ただし、蓄電池設備を除き、区分することが困難な経費は、「蓄電池を併設する補助対象設備(蓄電池を除く)」の単価に含めて算出すること。

様式第4-1（補助対象設備の整備計画 1. 導入設備）の記入方法（5/5）

⑮_1_a	⑮_1_b	⑮_2	⑮_3	⑮_4	⑰	⑳	㉑	㉒
FIT/FIP認定を受けていない	FIT/FIPの申請中である	分割案件ではない	自己託送ではない	国から他の補助金を受けていない	脱炭素先行地域内に設置される設備である	緯度	経度	備考
YES		YES	YES	YES	YES			
YES	NO	YES	YES	YES	YES	36.000000	150.000000	
YES	NO	YES	YES	YES	YES	36.000000	140.000000	
YES	NO	YES	YES	YES	YES	36.000000	140.000000	



記入内容

⑮_1_a FIT/FIP認定を受けていない場合は「YES」を選択してください。（各発電所全てがYESにならないと、エラーになります。）

⑮_1_b FIT/FIP認定を申請中の場合は「YES」、その他は「NO」を選択してください。FIT/FIPの認定を申請中の発電所は、本事業に採択された場合、FIT/FIPの申請を取り下げさせていただきます。

⑮_2 分割案件ではないことを確認した場合は「YES」を選択してください。（各発電所全てがYESにならないと、エラーになります。）

⑮_3 自己託送ではない場合は「YES」を選択してください。（各発電所全てがYESにならないと、エラーになります。）

⑮_4 国から他の補助金を受けていない場合は「YES」を選択してください。（各発電所全てがYESにならないと、エラーになります。）

⑰ 脱炭素先行地域に選定された地域内に太陽光発電設備を設置し、当該地域内の需要家に電気を供給するものであって、当該脱炭素先行地域の選定に当たって自治体が提案した計画に位置づけられているものの場合は「YES」、それ以外は「NO」を選択してください。

⑳ 補助対象設備である発電所が位置する緯度を記入してください。

㉑ 補助対象設備である発電所が位置する経度を記入してください。

㉒ 連名申請の場合のみ、申請者番号を記入してください。

様式第4-1（補助対象設備の整備計画 2. 整備スケジュール（複数年度事業））の記入方法

【本様式全体に関わる留意点】

- 三次公募では複数年度事業のみ公募対象であるため、「様式第4-1整備スケジュール（複数年度事業）」のシートに記入してください。

系統連系手続きの申込／完了の日程は、系統連系契約の申込／完了予定日を記入してください。なお、「工事負担金支払い完了」日については、系統連系手続きの「支払」日に記載してください

左記の日程に合わせ、事業全体のスケジュールを線表を用いて作成してください。各発電所毎ではなく、全体的なスケジュールとして作成してください。

			6月～8月	9～11月	12～令和7年2月	令和7年3月～5月	6月～8月	9～
系統連系手続き	申込	2024/6/20						
	完了	2025/10/10						
	支払	1年度目						
		2年度目						
		3年度目						
連系工事	完了予定	2026/2/20						
	支払	1年度目						
		2年度目						
		3年度目						
設計	着手	2024/9/2						
	完了	2024/9/30						
	支払	1年度目						
		2年度目						
設備手配	着手	2024/10/1						
	完了	2026/7/1						
	支払	1年度目						
		2年度目						
土地造成工事	着手	2025/1/20						
	完了	2025/7/20						
	支払	1年度目						
		2年度目						
基礎・架台・設備設置工事	着手	2025/8/1						
	完了	2026/11/1						
	支払	1年度目						
		2年度目						
使用前目玉検査/使用前目玉確認	完了	2027/1/20						
運転開始（送電）	運転	2027/1/31						

様式第4-2（補助対象設備による電気の利用の計画）の記入方法

【本様式全体に関わる留意点】

- 発電所100か所まで利用可能なフォーマットとなります。発電所総数がこれを超える場合は、事務局へ連絡し、必要なツールを入手してください。
- 網掛けのセルは、他の様式からの自動転記、自動計算なので入力できません。網掛けの無いセルに必要事項を入力してください。
- 各行には各発電所の情報を行を空けずに、順に記入してください。
- 発電所番号は1から連番で記入してください。
- 他セルからのコピー＆ペーストによる入力は自動計算機能の誤作動を生じさせる可能性があるため、各セルにデータを入力する際は手動で入力してください。

自動入力内容

- 総計画発電量：様式第4-1⑤の総計画発電量が転記されます
- 買取率（％）全体：買取率が自動計算されます
- 買取率（％）中小企業のみ：中小企業の買取率のみが自動計算されます

（様式第4-2） 補助対象設備による電気の利用の計画

申請者 住所

法人の名称

代表者氏名

総計画発電量（kWh/年）

3,942,000

買取率（％）全体

100%

買取率（％）中小企業のみ

47%

				中小企業の 買取量 (kWh/年)	電話番号	需要地の 種類	需要地の買取量 (kWh/年)	需要地の年間の電 力使用量 (kWh/年)
需要地 番号	需要家 番号	合計		1,842,000			3,942,000	9,999,999
		需要地の名称	需要地の所在地	中小企業				
1	1	AAA事業所	東京都大田区XXX X-X-X	YES	03-XXXX-XXXX	事務所	1,842,000	3,333,333
2	2	BBB事業所	東京都港区XXX X-X-X	NO	03-XXXX-XXXX	事務所	1,000,000	3,333,333
3	3	CCC事業所	神奈川県川崎市川崎区XXX X-X-X	NO	044-XXX-XXX	事務所	1,100,000	3,333,333

記入内容

需要家番号、各需要地の名称、所在地、中小企業の電力の買取有無、電話番号を記入してください

記入内容

- 需要地の種類：各需要地の種類を選択してください
- 需要地の買取量：各需要地において、補助対象設備による電気を利用する電力の買取量を記入してください
- 需要地の年間電力使用量：各需要地の直近1年間の電力使用量を記入してください

様式第4-3（補助対象設備の設備構造図）の記入方法

!

【本様式全体に関わる留意点】

- 蓄電池を併設しない場合は、本様式を使用してください。
- 様式4-1に記載する発電所ごとに作成してください。
- 設置場所の地図上に、以下を記載した図面を提出してください。なお、別紙で作成した画像等をEXCELに貼り付けても頂く形でも構いません。
 - 機器配置図（レイアウト）
 - パネルの主な仕様（メーカー、出力、枚数等）
 - パワコンの主な仕様（メーカー、出力等）
 - 受変電設備等の位置

(様式第4-3) 補助対象設備の設備構造図

発電所番号

1

発電所名

〇〇〇発電所

申請者

住所

東京都港区新橋XXX-XX

法人の名称

株式会社 需要家太陽

代表者氏名

太陽 太郎

システム構成図・設置図、設置機器等を記載のこと

パワーコンディショナ500kW×1台

パワーコンディショナ500kW×2台

直北

連架柱(川島346)

1号柱設置予定位置

引込用受変電設備

フェンス

合計 : 2,037,000W+35,000W+7,000W=2,079,000W

1170020

58992200

アレイA:6段×7列

250W×42モジュール×194アレイ=2,037,000W

835020

58992200

アレイB:6段×5列

※2モジュールはブランク

250W×28モジュール×5アレイ=35,000W

501020

58992200

アレイB:6段×3列

※4モジュールはブランク

250W×14モジュール×2アレイ=7,000W

太陽電池 : KF250X-PPEB2-S

容量 : @250×8,316枚=2,079,000W

系統 : 14直列594並列

角度 : 地上6段7列、10度設置

アレイ間隔 : 2.2m

UNIT : mm

条件 : 設置範囲内平地及び影がからないこと

22

様式第4-3（補助対象設備の設備構造図（蓄電池併設））の記入方法

!

【本様式全体に関わる留意点】

- 蓄電池を併設する場合は、本様式を使用してください。
- 様式4-1に記載する発電所ごとに作成してください。
- 設置場所の地図上に、以下を記載した図面を提出してください。なお、別紙で作成した画像等をEXCELに貼り付けても頂く形でも構いません。
 - 蓄電池を含む機器配置図（レイアウト）
 - パネルの主な仕様（メーカー、出力、枚数等）
 - パワコンの主な仕様（メーカー、出力等）
 - 受変電設備等の位置

!

蓄電池に係る設備や名称等を記入してください。

!

図内に蓄電池の設置予定場所を明記してください。

（様式第4-3） 補助対象設備の設備構造図

発電所番号

1

発電所名

AAA発電所

申請者

住所

東京都港区新橋XXX-XX

法人の名称

株式会社 需要家太陽

代表者氏名

太陽 太郎

システム構成図・設置図、設置機器等を記載のこと

・蓄電システム制御装置のプログラムの更新実施者が当該制御装置のメーカーと異なる場合には、備考欄にプログラムの更新実施者を明記してください。

No	設備内訳		メーカー	型番	数量	備考
	設備種別	設備名称				
1	蓄電池部	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
2	蓄電池部制御装置	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
3	電力変換装置	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
4	蓄電システム制御装置	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

類焼試験に適合している

故障や自然災害など有事の際のレジリエンス確保

蓄電池の製造、加工、販売等の事業を行う者の廃棄物処理法上の広域認定の取得

蓄電池

パワーコンディショナ500kW×1台

パワーコンディショナ500kW×2台

連系柱(川島346)

1号柱設置予定位置

引込用受変電設備

フェンス

南北

合計：2,037,000W+35,000W+7,000W=2,079,000W

11700

20

5899

2200

レイA:6段×7列

250W×42モジュール×194アレイ=2,037,000W

8350

20

5899

2200

レイB:6段×5列

※2モジュールはブランク

250W×28モジュール×5アレイ=35,000W

5010

20

5899

2200

レイB:6段×3列

※4モジュールはブランク

250W×14モジュール×2アレイ=7,000W

太陽電池

：KF250X-PPEB2-S

容量

：@250×8,316枚=2,079,000W

系統

：14直列594並列

角度

：地上6段7列、10度設置

アレイ間隔

：2.2m

UNIT：mm

条件：設置範囲内平地及び影がからないこと

23

様式第5（資金計画）の記入方法

(様式第5)

資金計画

申請者住所氏名東京都港区新橋 XXX-XX
株式会社需要家太陽
代表取締役社長 太陽 太郎

1. 資金調達計画

項目	1 金額 (円)	備考
補助事業に要する経費 (注)	XXX,XXX,XXX 円	
うち、補助金交付申請 (充当予定) 額	XXX,XXX,XXX 円	
自己資金	XXX,XXX,XXX 円	
金融機関等からの借入金	XXX,XXX,XXX 円	借入条件 : 補助対象設備の担保の有無 : 2 有・無
その他の収入金	XXX,XXX,XXX 円	

(注) 複数年度事業の場合においても、全期間分の合計経費を記入してください。

2. 借入金がある場合、借入金返済計画の詳細
※借入金がある場合は、「借入金返済計画」を別紙5-1 (様式自由) として添付してください。

3. 収入金がある場合、収入金の詳細

!

申請者の住所、社名、代表者氏名を記入してください。

!

1 資金計画について、記入してください。なお、複数年度事業の場合においても、全期間分の合計経費を記入してください。

2 担保がある場合は「有」に○をしてください。

2 また、借入先が決定している場合は、借入条件に借入先企業名も合わせてご記入ください。

!

借入金のある場合、別紙5-1 (様式自由) として、資料を添付してください。

様式第6（事前着手申請書）の記入方法

(様式第6)

2024 年 XX 月 XX 日

需要家主導型太陽光・蓄電池導入支援事務局 殿

申請者

住所

東京都港区新橋 XXX-XX

氏名

株式会社需要家太陽

代表取締役社長 太陽 太郎

令和5年度補正予算需要家主導型太陽光発電導入支援事業費事前着手申請書

需要家主導型太陽光発電導入支援事業費の応募申請中である以下の事業について、下記のとおり交付決定前に着手いたしたく、申請します。

なお、本件について交付決定がなされなかった場合、または交付決定額が交付申請額に達しない場合においても異議は申し立てません。

記

1. 補助事業の名称

需要家主導型太陽光発電導入支援事業

2. 補助事業の実施にあたり、事前着手が必要である理由

太陽光発電設備の整備に際して、事前に見積もり等を求めたところ、太陽電池モジュール及びパワーコンディショナの調達について〇〇等の原因から〇か月の期間を要することが見込まれるため、早期の発注が必要であることが判明した。そのため、確実に事業を完了するためには〇月中旬までの注文の確定が必要であることから、事前着手の申請を行う。

3. 事前着手を要する契約等：

事前着手を要する発電所番号	事前着手を要する蓄電池番号	事前着手を要する補助対象経費の項目	事前着手を要する補助対象経費の具体的な内容	着手（予定）の年月日	事前着手に要する経費の額（円）
1		設備導入費	太陽電池モジュール〇〇kW PCS〇〇kW×〇台	2024年XX月XX日	X,XXX,XXX 円

4. 担当者連絡先

申請者名（法人番号）	株式会社 需要家太陽（XXXXXXXXX）
連絡先住所	東京都港区新橋 XXX-XX
部署名	開発部
担当者氏名	太陽三郎
連絡先電話番号	090-XXXX-XXXX
連絡先メールアドレス	Taiyou.saburou@juyouka.co.jp

作成日を記入してください。

申請者の住所、社名、代表者氏名を記入してください。

2. 事前着手申請が必要である理由について、詳細に記入してください。

事前着手を要する発電所番号、経費の項目、経費の具体的な内容、着手予定日、経費の額を記入してください。

3. また、蓄電池に係る経費を事前着手申請する場合には、事前着手を要する蓄電池番号の欄をご記入ください。なお、蓄電池番号は、様式第4－3補助対象設備の設備構造図（蓄電池併設）の表における「No.」を指します。

4. 担当者の連絡先を記入してください。内容について問い合わせる場合があるので、必ず連絡可能な電話番号、メールアドレスを記入してください。

添付4(1) (地上設置の場合：補助対象設備を導入する土地全筆の地番リスト) の記入方法

添付4 (1)

地上設置の場合：補助対象設備を導入する土地全筆の地番リスト

申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XX
法人の名称 株式会社 需要家太陽
代表者氏名 太陽 太郎

※一地番（1筆）につき、1行ごとに記載してください。

発電所 番号	地番
1	埼玉県東松山市XXX XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
2	埼玉県比企郡吉見町XXX XXXX-XX
2	埼玉県比企郡吉見町XXX 字XXXX-XX
3	埼玉県秩父市XXX XXXX-XXX



各発電所の土地の地番を記載してください。
地番が複数に分かれている場合、全ての筆の地番を記載してください。
※都道府県名からすべて記入をお願いします。

添付4(2) (地上設置の場合：添付4(1)のリストにある土地と境界を接する土地全筆の地番リスト) の記入方法

添付4 (2)

地上設置の場合：添付4(1)のリストにある土地と境界を接する土地全筆の地番リスト

申請者 住所 東京都港区新橋XXX-XX
法人の名称 株式会社 需要家太陽
代表者氏名 太陽 太郎

※一地番（1筆）につき、1行ごとに記載してください。

発電所 番号	地番（境界）
1	埼玉県東松山市XXX XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
1	埼玉県東松山市XXX 字XXXX-XXX
2	埼玉県比企郡吉見町XXX XXXX-XX
2	埼玉県比企郡吉見町XXX 字XXXX-XX
2	埼玉県比企郡吉見町XXX 字XXXX-XX
2	埼玉県比企郡吉見町XXX 字XXXX-XX
2	埼玉県比企郡吉見町XXX 字XXXX-XX
3	埼玉県秩父市XXX XXXX-XXX
3	埼玉県秩父市XXX XXXX-XXX
3	埼玉県秩父市XXX XXXX-XXX



発電所を設置する土地の構図から、当該土地と境界を接する土地を確認し、その全ての筆の地番を記入してください。
※都道府県名からすべて記入をお願いします。

添付11（関係法令手続状況の説明資料）の記入方法

(添付11)

関係法令手続状況の説明資料

申請者住所

東京都港区新橋XXX-XX

法人の名称

株式会社 需要家太陽

代表者氏名

太陽 太郎

令和5年度補正予算需要家主導太陽光発電導入支援事業の申請に関し、補助対象設備の設置場所に係る関係法令（条例・規則を含む。）及び当該法令の手続状況を下記のとおり提出します。

発電所番号

1

作成日

2024/XX/XX

発電所住所

△△県△△市XXX-XXXX-XXX

1. 発電設備の設置場所に係る関係法令への該当状況（注1）

項目	該当の有無	現況 (有の場合のみ)	確認・手続先
1 国土利用計画法に基づく土地売買等届出	☒ 該当有 ☐ 該当無 ☐ 確認中	☐ 手続済 ☒ 手続中 ☐ 手続予定 (年月月予定)	確認日: 2022/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): XXXX-XX-XXXX
2 都市計画法に基づく開発許可	☒ 該当有 ☐ 該当無 ☐ 確認中	☐ 手続済 ☐ 手続中 ☐ 手続予定 (年月月予定)	確認日: 2022/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): XXXX-XX-XXXX
3 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく工事許可	☒ 該当有 ☐ 該当無 ☐ 確認中	☐ 手続済 ☒ 手続中 ☐ 手続予定 (年月月予定)	確認日: 2022/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): XXXX-XX-XXXX
4 河川法に基づく工作物の新築等の許可、河川区域内の土地占用・掘削許可	☒ 該当有 ☐ 該当無 ☐ 確認中	☐ 手続済 ☐ 手続中 ☐ 手続予定 (年月月予定)	確認日: 2022/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): XXXX-XX-XXXX
5 港湾法に基づく港湾区域内の水域又は港湾隣接地域における占用の許可、臨港地区内における行為の届出	☒ 該当有 ☐ 該当無 ☐ 確認中	☐ 手続済 ☒ 手続中 ☐ 手続予定 (年月月予定)	確認日: 2022/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長) 連絡先(TEL): XXXX-XX-XXXX
6 海岸法に基づく海岸保全区域等の占用許可	☒ 該当有 ☐ 該当無 ☐ 確認中	☒ 手続済 ☐ 手続中 ☐ 手続予定	確認日: 2022/12/13 部署: ○○市建設部都市計画課 担当者名(役職): 建設太郎(係長)

上記以外の相談先(部署名) (注3)

△△県企画部エネルギー環境課 (関係法令全般に係る相談)

○○市企画政策部エネルギー課 (関係法令全般及び地域住民との調整に係る相談)

(注1 掲載した関係法令は、あくまで参考として例示したものであり、申請者の責任において、法令を所管する行政機関への照会等により、最終的な確認・手続を行うこと。行政機関と関係法令への該当の有無について確認中の場合、「確認中」を選ぶこと。

(注2 掲載した法令のほかに該当するものがあれば「2.2 その他の法律・条例に係る手続」に記入すること。

(注3 発電設備の所在地に係る関係法令及び条例の相談先として記載した部署以外に相談先がある場合は記入すること。

- !

【本様式全体に関わる留意点】

複数の発電所がある場合は、シートを複製し、発電所ごとに資料を作成してください。
- !

発電所番号、発電所住所、作成日を記入してください。
- !

確認・手続先は、発電所を設置する行政機関（自治体）にしてください。行政機関への確認日、部署、担当者及び連絡先を記入した上で該当の有無等を記入してください。

確認は公募開始日から1年以内に行われたもので記入してください。また、2024年4月以降に太陽光に関する条例を施行・変更した自治体がありますので、行政機関に確認してください。
- !

その他の法律・条例に該当しないか確認し、該当の有無を含め全て記入してください。

行政機関（各自治体）において、太陽光発電設備の規制に関する条例を定めている場合がありますので、確認のうえ記入をお願いします。

地域住民や地域の自治体と適切なコミュニケーションを図るとともに、地域住民に十分配慮して事業を実施するよう努めてください。
(公募要領1-6. 補助対象事業の要件を参照)
- 27

添付12（従業員への賃金引上げ計画の表明書）の記入方法

添付 12

賃金引上げ計画の表明書

1 当社は、○年度（令和○年○月○日から令和○年○月○日までの当○事業年度）（又は○年）に○
3 て従業員の賃金を引上げ、給与総額を対前年度（又は対前年）増加率○%以上と
すること【を表明いたします。／について、従業員と合意したことを表明いたします】。

4 (記載時の留意点)
・事業終了後に当該表明書の内容について、留意事項 1 又は 2 における関連資料のご提出
を頂くとともに、需要家主導型太陽光・蓄電池導入支援事務局にて内容を確認させて頂き
ますので、それらを踏まえた記載内容の選択をお願いします。

5 令和 XX 年 XX 月 XX 日
株式会社○○○○
(住所を記載)
代表者氏名 ○○ ○○

6 上記の内容について、我々従業員は、令和○年○月○日に、○○○という方法によって、
代表者より表明を受けました。

7 令和 XX 年 XX 月 XX 日
株式会社○○○○
従業員代表 氏名 ○○ ○○ 印
給与又は経理担当者 氏名 ○○ ○○ 印

！

【本様式全体に関わる留意点】

- ・ 加点を希望する申請事業者は、本様式に加えて前年度の法人税申告書別表 1 を応募申請時にご提出ください。

！

1 賃金引上げを表明した期間(事業年度又は年)を記入してください。

2 対前年度(又は対前年)増加率を記入してください。

3 【表明または従業員と合意を表明】を記入してください。

4 留意点を確認し、2ページ目の留意事項を含めて提出してください。

(留意事項)

1. 企業概要を確認させていただくため、前年度の法人税申告書別表 1 を本表明書と同時に提出してください。

2. 事業年度により賃上げを表明した場合には、「法人事業概況説明書」を当該事業年度及びその前年度における同書を作成後、それぞれの「10 主要科目」のうち「労務費」、「役員報酬」及び「従業員給料」の合計額を提出してください。
なお、法人事業概況説明書を作成しない者においては、税務申告のために作成する類似の書類（事業活動収支計算書）等の賃金支払額を確認できる書類を提出してください。

3. 暦年により賃上げを表明した場合においては、「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」を提出してください。

4. 上記 1. による確認において表明書に記載した賃上げを実行していない場合又は上記確認書類を提出しない場合においては、加点いたしません。

5. 他の補助金等に申請するために、すでに本表明書を当該年度中に省庁等に提出済みの場合、写しでの提出も可とします。

！

5 申請日、申請者法人の名称、住所、代表者の氏名を記入してください。

6 従業員と合意した場合、合意した日付、合意した方法を記入してください。

7 申請日、申請者法人の名称、従業員代表氏名、給与又は経理担当者の記入及び押印をしてください。

28

応募申請書類作成にあたっての最終確認事項

例年、特に以下の点を中心に書類上の不備が散見されるため、申請に際してはご注意ください

書類	確認事項
全ての書類	☐ 各様式、別紙、添付書類の記載内容が全て一致しているか、整合しているか。 ・例：各種金額、日付、名称、発電所番号、DC出力、AC出力、接続検討結果、需要量、FIT/FIP認定、地番
様式第4-3	☐ 地番の分かる図面上に、受変電設備を含む各設備機器を配置しているか。 ☐ パネル・パワコンは、様式第4-1の発電所出力、添付6、添付7の接続検討内容と整合する出力で作成したか。
添付4 (1)(2)(3)	☐ 地番リスト及びその境界については、様式第4-3：設備構造図及び公図と過不足なく一致しているか。 ☐ 公図は、発電所の周囲の地番が十分に確認できる縮尺で取得したか。
添付5 (1)(2)(3)	☐ 登記簿謄本は、 <u>法務局発行の3か月以内のもの</u> を添付しているか。 ☐ 契約書等の写しは、補助事業者が権利を有していることが分かる資料になっているか。
添付6	☐ 接続検討の申請及び系統連系に係る契約日は、 <u>事業完了日に十分間に合う日</u> か。 ☐ 有効期限内に発行されたもので、補助事業者が権利を有している資料か。
添付7	☐ 接続検討の申請及び系統連系に係る契約日は、 <u>事業完了日に十分間に合う日</u> か。
添付11	☐ 確認・手続き先は、該当の有無/確認中のいずれかにかかわらず、地域の行政機関に過去1年以内に連絡を取った内容で記入しているか。 ☐ 2024年以降に施行・変更された太陽光に関する条例を確認したか

書類の抜け漏れなく応募申請してください。なお、本頁は申請書類に含めて頂く必要はありません。申請前の確認にご活用ください。

改訂履歴

日付	バージョン	改訂内容
令和6年4月26日	v.1.0	初版発行
令和6年5月21日	v.1.1	p.26 様式第6 事前着手申請の記入例と記入方法を修正
令和6年6月25日	v.2.0	p.6 様式第1別紙1-1 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の配分額における補助率に係る記述を変更 p.17 様式第4-1 導入設備における⑤適用される補助率の選択肢に係る記述を変更 p.25 様式第5 資金計画における借入先条件の記入方法を修正 p.29 添付12 賃金引上げ計画の表明書における「本様式全体に関わる留意点」の記述を変更
令和6年7月1日	v.2.1	p.3 公募期間を修正
令和7年1月6日	v.2.2	p.0 令和5年度補正予算事業の三次公募、需要家主導型太陽光発電導入支援事業に係る記述を追記 p.4 複数年度事業に係る記述を追記 p.5,6 単年度事業に係る記述を削除 p.14,15,16,20 複数年度事業に係る記述に修正